中城村　見つめよう　わたしたち　みんなのぎかい

議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員

平成14年度中城中学校卒業式 風景

目　次

■ 12月一般質問　3
■ 平成15年度予算　8
■ ３月定例一般質問　9
■ 意見書採択　15

第７号
12月・3月議会

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358　発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社

市町村合併は是か非か。決めるのはあなたです!!

平成15年1月14日、宜野湾、西原、中城の３市町村による、合併任意協議会が設立されました。

本村３月定例議会においても、８名の議員が一般質問に合併問題を取り上げ、合併の是非を問う活発な議論が展開されました。新垣村長も議会答弁の中で６月議会、“遅くとも９月議会までには、方向性を決定する”としており、また“住民投票も視野に入れる”と明らかにしております。村民の皆様、今後は住民説明会等へも積極的に参加して頂き、一緒に中城の将来を考えていきましょう。

平成14年第８回　12月定例議会

可決

平成１４年度一般会計補正予算（第4号）

補正額:592万2千円を減額　予算総額:46億3,452万7千円

理由：歳入では、国、県支出金3,511万8千円の増、繰入金4,363万円の減が主で、歳出では、総務費2,673万6千円の増、民生費　3,571万円の減が主である。

可決

平成１４年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

補正額:1,105万2千円を追加　予算総額:9億6,907万4千円

理由：歳入では、基金繰入金3,282万7千円の増、一般会計からの繰入金2,177万5千円の減が主で、歳出では、総務費474万円の減、基金積立金1,703万5千円の増が主である。

可決

平成１４年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

補正額:68万6千円を追加　予算総額:5億3,167万1千円

理由；歳入で、消費税、及び地方消費税の確定による100万4千円の増、一般会計からの繰入金31万8千円の減が主である。

一般質問

平成十四年十二月定例議会

市町村合併

新垣健二議員

新垣議員　最近各地で市町村合併に対する取り組みがなされておりますが、本村においても、五市町村による研究会が行われていたようですが、現段階における村長の見解を伺いたい。

村長　五市町村「本村と北中城村、西原町、宜野湾市、浦添市」の企画担当部署連絡会議を平成十三年七月に発足させ、県内外の先進地の視察を行っており、そして二回程市町村長を交えて合併問題学習会も開催され、一定の目的は達成したとして、今後は各市町村でどう対応するかという段階に入ったと認識している。

新垣議員　村民への合併に対する判断材料の提供は大変重要だと思います。従って今後どのような方法、どのような日程で情報提供を行うか計画があれば伺いたい。

企画課長　村内の各種団体と意見交換等を経て、やはりあらかじめの情報提供が重要であり、村広報等を通じて早目に合併に関する情報を提供し、住民アンケートの実施、そしてその意向や懸念事項の集約を図っていきたい。

新垣議員　情報の提供は住民が判断材料にふさわしい客観的なものでなければならないと思います。そこでいま村民が合併に対してどのような意識をもっているか確認のためにも、意見箱の設置や、学校でも合併に対する議論の場を設けていくというのも必要だと思うが。

企画課長　広く意見の集約を図るという観点からあらゆる選択肢を念頭に入れて考えていきたい。

防災無線

新垣議員　津覇（グレイスタウン）付近の防災無線の改善要望が地域からあったと思いますが、どのように検討されたか。

総務課長　保守点検業務委託業者と協議した結果、設置が必要であるということでございまして、新年度に向けて予算要求をして参りたい。

新垣議員　この地域は村内でも一番海岸に近い所でもあるし、防災無線の設置目的上、是非この予算を通していただけるよう要望いたします。

LNG発電所建設誘致

宮城治邦議員

宮城議員　「電磁波の危険性を憂慮する」の新聞記事を読まれて村長はどう認識されておられるのか、また、発電所誘致について平成十四年六月に地域説明会（二回）を持って以来、地域説明会が実施されていませんが、住民との合意形成が十分だと思っておられるのか、関連して電源三法関係について、お尋ねを致します。

村長　電磁波の健康影響については、居住環境における人の健康に有害な影響があると言う確たる証拠は現在のところ認められないという認識をしております。国立環境研究所や国立ガンセンターの次の報告を重大な関心をもって見守っていきたいと考えております。

次に、整備計画書作成段階での地元の意見の尊重については、十分に配慮して進めて参りたいと考えております。

宮城議員　LNG発電所建設に対しては、地域住民の合意形成が必要不可欠だと思います。現在どのような取り組み、実施計画書が作成されているのか、お尋ね致します。

企画課長　課内において、どう言う形で進めていこうかと言うことは常々話し合っていますが、計画書という目に見えるものは整えて御座いません。それで初期対策交付金を是非、新年度から出来れば活用して、計画書を作っていきたいと考えております。

宮城議員　LNG発電所の誘致は中城村にとっては、将来を展望する意味で財政、雇用、活性化等、村政の発展に大きく寄与する画期的な事業だと思いますが、反面、立地する地元住民にとっては大なり、小なり不安を持っておられる人も事実であります。その不安を解消する為にも、行政は積極的に地域での説明会や懇談会を開催し、実施計画書を作成して、しっかりしたプロセスを踏んで地域住民への理解が求められるように努力する事が大事ではないかと思います。また、村長は電源立地地域還元策をどのように考えておられるのか、お尋ねを致します。

村長　このLNG発電所は村政の発展、将来を展望するに至る財源の安定化、健全化と言う意味で、とても大事なものであろうかと思います。しかし、おっしゃるように不安があっては人体、あるいは健康面に影響があっては元も子もないと言う事でありますので、しっかりと不安解消に取り組んでまいりますと同時に、地元への還元策については、鋭意努力をして参ります。地元を中心に広く村民のためにバランスを考えながら地域の活性化策について、考えて参りたいと言う事でございます。

市町村合併

新垣徳行議員

新垣議員　市町村合併問題につきまして、より視点を下げながら質問を致します。現在の車社会、日常生活圏の拡大等、広域化、多様化に対する行政需要に的確に対応するにも市町村合併は避けては通れない大きな課題だといわれています。本村と致しましてもより積極的にこの問題に対して取り組んでいかなければならないと思います。村長の所見をお伺い致します。

村長　今後は各市町村ごとに合併問題をどのように取り組んでいくのか、私達中城村としてはどう対応するのかその方向性を見いだしていかなければならない段階に入ったと認識しております。

新垣議員　人口規模、本村の特性を生かし、より利便性の視点から、どの地域との合併が妥当か。

村長　合併を前提とした場合の人口規模だとか、あるいは対象地域については、住民の自主的な意志の尊重という立場から明確にいまどれぐらいの人口規模で、どの範囲でということや、まだ明確にお答えできる段階に至ってないというのが私の考え方であります。

新垣議員　近隣五市町村の合併問題調査研究会は、十二月で終了しますが、今後、より高度な研究、協議会等の設置の考え方がありますか。

村長　住民の意向等の集約というこれからの段階でありますので、いま明確に五市町村の研究協議会を設置するということには避けたいと思います。ただし、合併問題に対して論議を深めていくという点では全く異論はございません。

新垣議員　平成十五年度からは住民への情報提供としてアンケート調査、そういう問題に取り組む姿勢があるか。

企画課長　五市町村企画担当部署連絡会議で、研修を行っております。合併特例法、メリット、デメリット、実際合併に至った地域の研修、そして至らなかった所の研修等々もふくまれております。住民へのアンケート等もありますが、その前に、私達がもっております情報を村民の方に伝えていきたいといま考えております。

青葉苑の新築工事

比嘉明典議員

比嘉議員　去った十一月臨時議会において青葉苑の進入路が村道認定されましたが、道路認定事務処理手続きと道路認定による青葉苑の新築工事の行程にかかる平成十四年十一月一日からの事務手続きはどのようになっているか、また道路認定に伴う地権者の同意についてはどのような状況にあるのかについてお伺い致します。

村長　当初十一月初め頃には建築確認申請をして一ヵ月後の十一月上旬までに建築確認済み書を受領し、その後受電、入水、電気と水道を引くための配線、配管工事を進める予定でありましたが、青葉苑への進入路の供用開始ができず、行程変更をしなければならなくなりました。進入路の確保、使用開始を是非早めにしたいということで、村道として使用させていただくことへの地主の同意をいま鋭意求めているところであります。現時点では、五人中一人が同意に至っていない状況であります。道路認定事務手続きの経過は建設課長が答えます。

建設課長　平成十四年十月七日づけで中北清掃組合の管理者からゴミ処理施設青葉苑の進入路、中城村道路線として認定するよう依頼を受けております。議会におきまして、道路法第八条第二項の規定により提案し、道路認定の議決を得ております。

丸兼商会の業務停止

比嘉議員　村内粗大ゴミを処理するための処分場がなくなり、粗大ゴミ収集ができない状

況にあります。その対策はどのようになっているか。

住民生活課長　十一月二十日に清掃事務組合において緊急会議を開き協議し自治会長会にもご協力お願いしまして、当分の間は各家庭で保管していただくことでご理解をお願いしています。ヤードにおきましても、現在清掃事務組合と協議しながら確保する方向で検討しております。

　その他、砂防ダム、伊舎堂河川についての質問もありました。

中城中学校整備

宮　城　重　夫　議員

シゲオ議員　中城中学校の敷地移転、又は増改築等の計画をお持ちか、計画を具体的に示してもらいたい。

村長　中城中学校は敷地の狭さや運動場が満足に取れない状況にあり、敷地移転の問題も話題の一つとなっています。役場庁舎敷地とのかねあいもあって、今の所、確たる方向性は持っていません。現段階では現在位置のままで増改築計画をしています。

教育総務課長　現時点で進めていることが十五年度の管理棟の改築でございます。これは文部省の事業です。それと併行して防衛庁予算で防音工事を進めてまいります。

シゲオ議員　現在でも運動場は十分な活動の場が確保されてないが、現在の位置で管理棟の改築を進めるのか。

教育総務課長　現施設の中で改築、増築をして行きたいと思っています。特に運動場も確保しながらやっていきたいと考えています。

シゲオ議員　体育面で中学生になりますと、サッカーや、野球等の活動を考えた時、十分な広さの運動場確保が最低限必要と思うが。

村長　比較的近い位置に運動場を新たに設置することも考えなければならないと思っています。

学校週五日制での行政の対処

シゲオ議員　学校完全週五日制が四月一日から施行され、九ヶ月が経過しましたが、村内児童生徒へ行政としてどう対処していますか。

生涯学習課長　児童生徒の家庭や地域社会での生活時間の比重を高め、主体的に使える時間を増やし、自ら学び、自ら考え、生きる力を育むことを目的に、土曜日に村民体育館や、吉の浦会館を開放しています。

中城村放置自動車発生防止条例

シゲオ議員　中城村放置自動車の発生防止及び適正処置に関する条例が平成十四年九月三十日から施行されたが、その施行状況を伺いたい。

住民生活課長　条例、規則とも十月から施行し、十一月一日から村内放置自動車の台数確認を行って、去った十二月十七日、十八日に警告文書の貼り付け作業が完了しました。

シゲオ議員　何台の放置自動車が村内で確認出来たか、又放置防止に向けてどんな啓発、広報活動を行っているか。

住民生活課長　現在七十六台の放置自動車を把握しています。自治会長さんに文書を送り、情報の収集に努めています。

学校図書館図書の整備

仲　真　功　浩　議員

仲真議員　二〇〇一年十二月の臨時国会において「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、学校図書館の蔵書の充実のために地方交付税措置が講じられております。

　文部科学省通達に基づき、本村でもその対応がなされるべきものと考えておりますが、今年度の学校図書館の図書整備費の予算を見た場合、上記法律の主旨及び文部科学省通達を全く反映してなく、小学校及び中学校においても過去三カ年では一番低い予算配分になっております。例年の予算に更に上乗せをするようにと

指導されているのに何故そのような扱いになったのか。

村長　過年度に集中的に図書整備を実施し、学校の図書標準冊数を満たしてきたので予算を徐々に減らしてきたいきさつがありますが、私自身もその図書整備費の計上状況の推移を見ながら、ご指摘のようにこれは予算面でも反映させなければならないと、いま考えているところです。

教育総務課長　読書はほんとに学校教育の基礎になるものですので、教育委員会としての希望ですが、各学校とも百万円ぐらいに増やしていきたいという考えは持っております。

村のホームページ管理

仲真議員　ホームページで一番大事にしなければいけないのが情報の速報性、新しさと思いますが、それが全然できていない。データの更新について、どこがどういうタイミングでやるとかその運用、保守に関する規則・手順はどうなっているのか。

企画課長　確かに古い内容になっていて、反省しているところであります。企画課が所管となっておりますが、最低年一回は掲載している資料を更新していきたいと考えております。

仲真議員　担当部署は決まっているが、管理規則とかはまだできていないと言うことと理解します。ホームページでは運用・管理とかセキュリティーというのが大変問題になってきますが、そういった運用諸々の事についてはまだ全然手がつけられていないということですか。

企画課長　まだ（規則等の）作成にはいたっておりません。早めに規則的に流れるような仕組みを作っていきたいと考えております。

大瀬線整備

与那覇　朝　徳　議員

与那覇議員　大瀬線の整備は登又区民も強い関心を持ち、去った五月の自治会総会に於いて、総会決議として要望書を提出させていただきました。平成十五年度の見直しについて伺いたい。

村長　大瀬線整備につきましては自治会からも再三要望書が届いております。私も重点課題の一つとしております。担当部署も鋭意努力しておりますので、明るい兆しが見えるのではないかと私も期待しております。

建設課長　国土交通省に平成十四年度申請を致しましたが、採択されませんでした。他省庁含めてということでまず防衛施設庁の緊急避難道路として採択が出来ないかと、十四年度に協議を進めてまいりました。防衛施設庁の沖縄関係予算の大枠が発表されまして、その中に額等についてはっきりしませんが、目出しの中に入っている、との情報を得ています。

与那覇議員　大瀬線の整備にいくらぐらいの総事業費を見込んでいますか。

建設課長　事業費総額は十億円前後を予定しております。

与那覇議員　大瀬線の整備波及効果は他の道路整備にはないようなものが計算出来ます。今後、本土はじめ、県内外からのゴルファーがお見えになった場合、村財政確保、中城村のイメージアップの面からも、是非とも早期に整備をする必要がある事業と考えられるが。

村長　十二月議会が終わり次第、早速、防衛施設局に足を運びたいと考えています。重要課題で緊急性を要する道路整備の一つと考えております。

与那覇議員　明るい兆しが見えたとは言え、目に見えるものとして出てくるまでは、手放しでは喜べないが、村長の踏み込んだ決意を伺いたい。

村長　防衛施設局の予算等、プールになっていますので、何回でも足を運んで、確かめることは大事だと考えております。

乳幼児医療費の現物給付

浜　田　京　介　議員

浜田議員　乳幼児の医療費の支払いを、病院側が直接各市町村へ請求できる制度（現物給付制度）の導入について、どう考えているか。

健康福祉課補佐　村独自での対応は、大変困難であります。県補助金の減額等が、予想されます。

浜田議員　ただ財政的に困難だというのではなく、ぜひとも、可能性を見いだせる努力をしてもらいたい。

健康福祉課補佐　メリット、デメリットを勘案し、前向きに検討します。

認可外保育園への助成金

浜田議員　本村における、認可外保育園への助成金は、近隣市町村のそれと比較しても、かなり助成金が低いが、今後、村としては、どう取り組んでいくつもりか。

健康福祉課補佐　認可外保育園への助成金については、平成十五年度より、内科、歯科、調理員の検便、そしてミルク代等を予算計上していきたいと思います。

浜田議員　本村の待機児童の受け入れ等でも認可外保育園に頼らざるを得ない状況なので、ぜひ予算計上願います。

市町村合併

浜田議員　村長は、合併は慎重かつ後れを取らないようにいきたいとあるが、その真意が伝わってこないが…。

村長　先頭切って走る訳にもいかないし、宜野湾、西原の動向を見ながら考えていく。

浜田議員　村長、合併はいわば外交です。中城がイニシアチブをとって、和の中心にいてほしい。合併するにしろ、しないにしろ、常に議論の中心にいないと、村民も正しい判断ができないと思います。宜野湾、西原の合併協議会に積極的に参加する意思があるのか、村長の強い決意をお聞かせ下さい。

村長　合併ありきを前提としない、任意合併協議会へ積極的に参加します。勉強会も積極的にやって立ち上げていきたいと思います。

健康づくり支援事業

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　核家族化の進んでいる中、子供の病気、心と体の健康で悩んでいる方が、いつでも、どこでも気軽に相談できる二十四時間無料電話サービスを実施したらどうか。

村長　現在行っている保険事業があり十五年度まで引き続き実施したいので重複しないように十六年度から採り入れるか検討していきたい。

ヨシ子議員　この事業は、専門の医師や、保健士、栄養士等がそろっていていつでもどこでもつながるシステムであり、医療費の抑制、健康保険税の減にもつながると思いますが。

保険課長　今行っている事業の延長のもとに上司と相談し継続してできるような方向性でいきたい。

粗大ゴミ

ヨシ子議員　各家庭で保管している粗大ゴミを今後どのように処理なさるのか。

住民生活課長　青葉苑の運転開始とともに処理していきたい。

ヨシ子議員　お正月を目前にして年に一度の大掃除、買い換え等多いと思いますが突然のストップに村民はとまどっています。ゴミの中でお正月を迎える事になりますが。

村長　清掃事務組合と協議しながらヤードの確保に努力しています。

ヨシ子議員　北中城村においては正月の前にいち早くヤードを確保し粗大ゴミを回収している。中城で何故それができないのか。

住民生活課長　不法投棄がひどいとか、粗大ゴミが山と積まれている状況なのか実態把握も必要かと考えています。今日、明日にも職員は、各地に行って調べるぐらいの気持ちでやらないといけない。年内になるか、お正月前後になるか、できるだけ早めに対応していきたいと思っています。

平成15年第２回中城村議会定例会提出案件一覧表

平成15年３月10日

	議案番号	事　　件　　名
可　　決	議案第９号	平成14年度中城村一般会計補正予算（第６号）
〃	議案第10号	平成14年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
〃	議案第11号	平成14年度中城村介護保険特別会計補正予算（第３号）
〃	議案第12号	平成14年度中城村老人保健特別会計補正予算（第２号）
〃	議案第13号	平成14年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算（第３号）
〃	議案第14号	平成14年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）
〃	議案第15号	平成15年度中城村一般会計予算
〃	議案第16号	平成15年度中城村国民健康保険特別会計予算
〃	議案第17号	平成15年度中城村老人保健特別会計予算
〃	議案第18号	平成15年度中城村土地区画整理事業特別会計予算
〃	議案第19号	平成15年度中城村公共下水道事業特別会計予算
〃	議案第20号	平成15年度中城村水道事業会計予算
〃	議案第21号	中城村法定外公共物管理条例
賛成多数	議案第22号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
可　　決	議案第23号	中城村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
〃	議案第24号	中城村固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例
〃	議案第25号	中城村情報公開条例の一部を改正する条例
〃	議案第26号	中城村介護保険条例を廃止する条例
〃	議案第27号	中城村介護給付費準備基金条例を廃止する条例
〃	議案第28号	中城村財政調整基金の繰替え運用
〃	議案第29号	歴史の道整備工事改定契約
〃	議案第30号	教育委員会委員の任命
〃	議案第31号	平成14年度中城村一般会計補正予算（第７号）
〃	議案第32号	平成14年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算（第４号）
〃	議案第33号	南上原地区築造工事（14-8工区）請負契約
〃	議案第34号	南上原地区築造工事（14-5工区）改定契約
〃	報告第１号	平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書の報告
〃	陳情第１号	イラク問題の平和的解決に向けた外交努力を求める意見書
〃	陳情第２号	健保３割負担の凍結を求める意見書
〃	陳情第３号	青少年健全育成法（仮称）の制定を求める意見書
〃	陳情第４号	イラクへの武力攻撃をただちに終結することを求める意見書
〃	発議第１号	市町村合併調査特別委員会設置に関する決議

可決

平成十五年度一般会計予算
総額：48億1,367万1千円

対前年比で4億9,533万4千円の増で、主な要因は中城中学校管理棟新増築整備事業に伴う経費増、及びゴミ処理施設青葉苑の運転開始に伴う負担金の増による。

可決

平成十五年度国民健康保険特別会計予算
総額：14億7,636万7千円

対前年比で7,598万9千円の増で、保険給付費、共同事業拠出金、総務費等の増が主な要因である。

可決

平成十五年度老人保健特別会計予算
総額：11億4,909万1千円

対前年比で3,812万7千円の減で、その主な要因は法律の改正により当該保険の対象者の減による。
（H14年10月より、老人保健の対象者が70歳より75歳に引き上げられた）

可決

平成15年度土地区画整理事業特別会計予算
総額：12億2,706万8千円

・前年比で1億7,260万2千円の増で、主に基金への繰入金である。
・平成16年の完了予定であるが進捗率は36.7%と遅れている。
・事業推進のためには、保留地処分が最重要課題である。

可決

平成15年度公共下水道事業特別会計予算
総額：4億7,387万6千円

・対前年比で4,901万9千円の減で、その主な要因は西原浄化センターの完成に伴う一般会計繰入金、及び村債の減による。
・下水道への接続戸数が低く、積極的な取組みが必要である。

可決

平成15年度水道事業会計予算
総額：3億8,437万8千円

対前年比で342万1千円の減となる。

一般質問

平成十五年三月定例議会

人材育成と職員の研修計画

仲　眞　功　浩　議員

仲眞議員　地方分権の本格化、ますます高度化、多様化する住民のニーズに的確に対応していくために、職員は新たな課題に積極的に挑戦する意欲や行動力、更に高い識見や専門性が要求されてきます。本村の職員の人材育成と研修計画の取り組みはどうなっているか。

村長　管理者研修、新採用職員研修等の一般研修をはじめ、各課それぞれの実務研修や専門分野の研修等多種多様な研修を受講しております。

仲眞議員　計画的、体系的な職員の研修を着実に実施していくためには、職場における人材育成の基本理念、めざすべき職員像を念頭に置いて職員研修の方向性や、具体的な実施内容を盛り込んだ職員研修基本方針を作成することが重要と思われますが、本村における求められる職員像とは何か、又、人材育成の基本方針は作成されているか。

村長　職員研修に対する基本計画、基本方針については、まだまとまったものとして作成しておりません。めざすべき職員像、求められるべき職員像としては、住民サービスの向上のためにしっかりやっていくぞという意気込み、気概、意欲、こういうところに職員像を求めています。

乳幼児医療助成

仲眞議員　乳幼児医療費の助成については、単に実施計画に準じる方向ではなく、

もっと積極的な対応を望む若い親たちの声が強いが、それにどう対応していくのか。

村長　趣旨はよく認識しておりますが、現下の本村の財政状況では県に準じて進めていく姿勢を堅持していくということでご理解をお願いしたいと思います。県以上の対応となりますと、これは全部単費持ち出しとなりますので、本村の現状では困難であります。

仲眞議員　将来的に助成対象を就学前まで、通院入院費共に無料化するという計画とか、そういうものが念頭にあるのかどうか。

村長　現時点では県の助成の枠内に従ってさせてもらいますが、財政的展望、将来展望をにらみながら、横並びでなく、一歩でも進歩できる体力をつけたいということは思っております。

合併に対する村長の姿勢

井口康市　議員

井口議員　市町村合併は、全村民の参画が前提だと思いますが、村長自身の合併に対するスタンス（姿勢）がはっきりしない。判断を住民に丸投げしようとしていないか。

村長　市町村合併は住民に直接影響を及ぼす重要な意思決定であり、自治体にとって将来を大きく左右する最重要課題であると認識しております。これだけの大事な、そして重要な問題を村民に丸投げできるわけはありませんし、丸投げしても解決できるものでもないと考えております。

住民への情報提供

井口議員　市町村合併を検討するに当たって、もっとも大切なことは、村民に現状分析と将来予測できるデータを示すべきだと思いますが、どのように対応しようとしているのか。

企画課長　財政シミュレーションと新市構想の策定準備を任意協の方で五月をめどに進めております。それらが整い次第地域説明会で示し、論議を深めていきたいと考えております。又、市町村合併関連の情報については広報誌等を通して積極的に提示していきたいと考えております。

特例法の期限に間に合うか

井口議員　二〇〇五年の合併特例法の期限までに住民投票条例の制定や法廷協議会等の諸準備は可能か。

村長　二〇〇五年三月までに是が非でもという合併ありきではありません。検討はスピーディに進めてまいりますが、結果として二〇〇五年三月の合併特例法の期限に間に合うかどうかは、これはあくまでも結果の問題である。

市町村連合構想

井口議員　政府が市町村合併を強制しているとして、全国町村会が武道館で前例のない規模の決起集会を開いて、独自の自治体再編案をだして対抗しようとしているが具体的にどういう事か。

村長　仮称でありますが、市町村連合構想というふうに呼んでおります。ハード面、広域行政を担う組長公選制の市町村連合を新たに儲ける一方、現行の市町村の枠組みをそのまま基礎自治体として残しておいて、住民生活に密着する業務はその基礎自治体で行うという二本の柱からなる案です。

市町村合併

宮城治邦　議員

宮城議員　本村との任意合併協議会の枠組み（宜野湾市・西原町）に、これまで歴史や自然、文化を共有し、現在も諸共同管理業務を行っている、北中城村が入っていないが、村長の選択肢の中に北中城村との合併の考えがあるか。

村長　合併問題でまず心、頭に思い浮かぶのは北中城村であります。ご指摘のように消防救急業務、清掃組合等々、何と言っても北中城村とは世界遺産の中城城跡と言うジョイント役といいますか、結びつける要素

がありますし、血は水よりも濃しといいますか、将来合併すると仮定するならば、選択肢として私は必然性をもっていると思います。

宮城議員　合併問題について村長同士で話し合いを持たれた事があるかどうか、また、広域合併を否定するものではないが、両村の歴史や現状の関係からすれば、まずは、両村の合併を第一義と考えて、村民に過重な負担にならないように、次の段階へと進めるのが順当ではないかと思いますが、村長はどうお考えか。

村長　北中城村長と合併問題をテーマに膝を交えて話し合ったのは宜野湾市長、西原町長、私の3名で任意協に加わってくださいませんかと言う事で、村長室を訪ねたことが正式な話し合いの場でした。本格的な話し合いはこれからと、言うことであります。両村の合併を重点に考えるよりも、北中城村を含めた形で人口規模を拡大して進められないかと言う事をかんがえております。両村だけでの合併は全く考えない訳ではないが、二の次になっているというのが私の現在の心境です。

LNG発電所誘致

宮城議員　去年の十二月定例会に質問したが、発電所建設に当たっては地域住民の合意形成が重要だと思います。現在合意形成に向けて、どのような取り組みをされているのか、実施計画書は作成されているのか。

企画課長　地域の合意を図るには費用が掛かりますので、初期対策交付金の活用を考えて計画を進めて行きたいと思っております。

宮城議員　地域に電源立地の理解を求めていく為に県内外の電源施設を視察すると言うことでしたが、その計画と日程、人数、メンバー構成は。

企画課長　視察先としては九州で、対象者は村全域で、助役、自治会長、村議会議員、各種団体等を網羅した中から総勢七十二名で、八月頃を予定して、視察調査を行っていきたいというふうに考えております。

対等合併

比嘉　定榮　議員

比嘉議員　平成十五年一月任意合併協議会立ち上げの、新聞記事によりますと、三市町村長の話し合いの中で対等合併の方向性で見いだすという宜野湾市長のコメントがありますがその本意は。

村長　今スタートラインに立って、これから行動をおこすわけですから、対等か吸収かといったようなものは、積み上げていっての話しになると思います。私達は三市町村の中では、人口規模の小さな所ですので、一番大きい宜野湾市長の口から、対等合併という言葉がでた事はとても有り難い。そうでなければならないと、考えております。

北中城村との合併

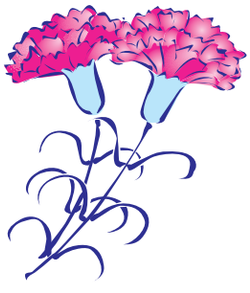
比嘉議員　合併特例三万人を考慮した北中城村との可能性は。

村長　特に三万人に満たして市昇格ということを満足させる条件を作る事は、今、頭にありません。両村の関係は、地理的、歴史的、文化的に眺めても兄弟のような仲であります。北中城村を含め規模を大きくした合併が出来たらと、今模索している所です。

合併審議委の構成

比嘉議員　任意合併協委員三十名の中に農業委員代表が入っていませんが。

村長　五月を目処に将来構想策定委員に、本村の農業委員会会長を入れております。このように役割分担をしながら、全ての団体代表を網羅しておりますことを申し添えておきます。



農業問題

喜舎場　健　司　議員

喜舎場議員　農薬取締法の改正や、トレーサビリティー（生産工程の記録と開示）の義務づけ等により生産農家を取り巻く環境は更に厳しいものとなっております。

本村のような零細農家や、高齢農業者の多い地域での農業振興を考えた時に早めに今の事態を察し、行政での営農指導体制を確立する必要があると思うが村長の所見は。

村長　営農指導員の位置づけの大切さは認識しているつもりであるが、本村の財政も火の車であり、今後、農協や営農センターで三者協議会をもつ機会をつくる

努力をしたい。

経済課長　議員ご指摘のように専門職の育成については、担当課長として非常に賛成なんですが、この件については基本的にＪＡグループで行うというのが全国的な流れになっておりまして、今後はＪＡ中城支店と協議しながら対応していきたい。

喜舎場議員　堆肥づくりや堆肥購入時に補助が出来ないか。

村長　今、本村も補助金を見なおしていくという流れでやっておりまして、原則として新規のものはよほどの実績がない限り認めないというものを原則としております。

喜舎場議員　直売所設置の考えはないか。

村長　以前、生活グループの方々を中心にこの事業を進めるため補助メニューを探したが受益者負担が大きすぎて、とん挫した経緯がありますが、しかしこの直売所については商工会、農協、融資者の方々と連携をとりながら考えていきたい。

喜舎場議員　本村の農生産物を学校給食の食材として利活用できないか。

経済課長　一日当たり、一六〇〇食以上の給食を作っており、それだけ大量の食材が確保できて、納めきれるかということが問題だと思う。

喜舎場議員　いままさに農業の転換期であると思っております。今後の村農業振興のためにも真剣に取り組んでいただきたいと要望致します。

保育行政

浜　田　京　介　議員

浜田議員　まず待機児童の解消についてですが、本村では四十名弱の待機児童がいますが、定員の弾力化ですべて解消できるんじゃないですか。定員一八〇名の一二五％弾力化で二二五名まで認められるのではないか。

健康福祉課長　確かにもう少し入れる余裕はあるが、スペースの問題で、どうしても入れない。現状では待機児童を、村内の認可外保育園に補助しながら頼っている現状です。

浜田議員　前回の私の一般質問で、認可外保育園への助成金を取り上げて、やっと今年度一七〇万円程の予算がつきましたが、この程度では公立保育園との比較にもならない。これでは行政の努力不足を責められても仕方ないと思うので、是非若い方々が中城で、子供を産みたい、育てたいと思える施策を、考えていただきたい。

児童クラブへの助成金

浜田議員　本村ではなぜ、国から児童クラブへの助成金があるのに、その予算が使われてないのか。

健康福祉課長　本村では受け皿が見あたらない。児童館等の建設を早めにしたい。

浜田議員　私が調べた所、沖縄は特例で、認可外保育園であっても、二十名以上の児童がいる所には、助成すると国が回答を出しています。行政は住民のためにもっと一生懸命勉強して、こういう予算を見逃さず、住民サービスに努めるよう、お願いいたします。

昼食時窓口サービス

浜田議員　近隣市町村でも、昼食時窓口サービスを行っていないのは本村と北中城ぐらいだが、いったい何日から実施するつもりなのか。

村長　十月実施を目処に職員と交渉していこうと思っております。

浜田議員　村長、あまりがっかりさせないで下さい。そんな先の話しではなく、近日中に実施できるよう、努力して下さい。

※他に市町村合併についての質問もありました。

沖縄電力L・N・G発電所誘致

仲村春光　議員

仲村議員　沖縄電力ＬＮＧ発電所の誘致実現の目処は確定したのか。初期対策交付金の活用はどのような計画なのか。十五年度は六三〇万円申請予定と聞いていますが、その事業内容は。

村長　久場の日石三菱の跡地を予定しておりますが、ほぼ用地の確保が終わり、交渉が成立し、立地条件を満たしている。後は地域住民の電磁波等に対する不安の払拭等で同意を得て誘致は可能と考えております。

企画課長　初期対策交付事業の申請は上期と下期の年二回の機会があります。上期については県外ＬＮＧ火力発電所の視察と、県内火力発電所の視察、電磁波等に対する、専門家による地域説明会を予定しています。下期は、諸振興につながる調査、事業計画づくり、公共施設の設備等申請したいと思います。

道路網整備

仲村議員　村道大瀬線の測量設計と潮垣線の整備予定を上げておりますが、二ヶ所以外に未整備及び改善すべき村道は多々あるが、その他に整備計画は予定しているか。

建設課長　県営中城公園のアクセス道路となります中城村城跡線の整備については県と協議を行っています。中・長期的には改築事業として五路線、緊急地方道路整備事業として、五路線の整備を予定しております。

仲村議員　五路線とは何処・何処ですか。

建設課長　改築事業の五路線として、ワカナン線、新川線、新垣中央線、和宇慶南上原線、泊浜原線と一応採択を満たしそうな箇所を選んであります。

歴史の道整備事業

仲村議員　平成十四年度予算でも一部地域の整備が着工されていますが、平成一五年度の工事計画はどうなっているか。

生涯学習課長　文化庁補助事業についてお答え致します。初年度見出し事業費として五百万円の八十％補助です。十五年度総事業費一千万円の八〇％補助で、ハンタ道南側発掘調査、新垣グスク南詳細設計を行って、その区間内で保存状態の良い石畳の道の写真測量を計画しています。

仲村議員　設計上から階段が多く、又きつい勾配に思えます。歴史の道は見せる為なのか、それとも歩道に供する為の事業なのか。

建設課長　歴史の道は歩行者用部分が大分ございます。当時の状況からして、起伏の激しい道だったことが想定出来ます。起伏の激しい所も歩いて、その当時の歴史の道追体験になると思います。

将来の中城村の基幹産業

宮城重夫　議員

シゲオ議員　将来の中城村の基幹産業をどう考えておられるか。その為に何をどう推進していく考えなのか。

村長　私の受け止め方ではかなり抽象的な表現になっていて、答弁に的はずれになるかも分かりませんが、今後とも農業を主軸に、他産業とのバランスを取りながら、産業振興に努めて参りたいと考えております。第一次産業を中心とした振興を図って行く。

シゲオ議員　具体的にどういった形で農業経営をして、それを基幹産業としてやって行くのか。

村長　さとうきびも何とか、この右下がりの低迷傾向に歯止めをかけながら、花卉園芸、果樹栽培等々、換金性の高い作物への転換、それを育成していく。なかなかこうすれば農業は活性化するという抜本策は提示出来ません。

市町村合併

シゲオ議員　市町村合併を村長はどう考えているのか。その方向性をどういう具合に持っていきたいか。

村長　何処と合併するのか、まだ模索の段階でありまして、これから研究調査をして住民に情報提供し、住民の判断を仰ぐ、執行部だけの問題ではない。議会の問題でもあり、全住民の問題です。力を合わせてその問題の論議を沸騰させ、世論を形成して行きたいと考えています。

シゲオ議員　国が合併を押し進める背景に住民主体による自己決定、自治運営、将来高齢化、少子化社会問題、財政難の問題があると思うが、主な理由は財政問題で合併を進めるのか。

村長　私も財政問題は大きいと思います。財政的に将来は確実に厳しい状況が見える。行政は住民への最大のサービス機関であり、サービスを提供出来なくなったら、行政の存在価値はありません。財政的に足腰の強い自治体を作らなければならない。

シゲオ議員　合併すれば十年間国から特例債が利用出来るからか、又この機会に真に住民一人々が地方自治に参加し、地方自治体の運営と、二つの見方があると思うが何を優先するか。

村長　私はやはり最終的には住民自治の立場から考えて行くべき問題である。住民自治を一番大事にしながらも、財政的諸般の情勢から、特例法がある内に検討するに値する。

農業振興

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　施政方針の中でさとうきびの機械化一環体系の確立をあげておられますが、機械化すれば農家の手どりは少ない、それでも機械化を推進なさるのか。

村長　機械化はまだ十パーセント台、農家の手に残るのが少ない状況は直視しなければいけない、この件は、県の方に改善できないか提言していきたい。

ヨシ子議員　糖業活性化事業へのとりくみ状況について。

村長　遊林地の解消、優良穂苗の設置を重点にとりくんでいる。

ヨシ子議員　生産奨励金の使途について伺います。

村長　国から百円、県から百円、県糖振協におりてくる。生産量に比例し地区・地域配分がきまってくる。生産拡大事業に投入されていく。

市町村合併

ヨシ子議員　五市町村の企画担当部署連絡会議で東京あきるの市（合併先例地）を視察してきた報告書、任意協での調査資料、合併した場合、しなかった場合の十年、二十年後のシミュレーションを出してほしい。

村長　全面公開を基本としている、いずれも提出する。

ヨシ子議員　合併特例債の使途の制限について伺います。

村長　合併市町村建設計画に基づいて行う一定の事業に要する経費、基金、積み立てに要する経費について起債できる、充当率九十五パーセント、元利償還の七割を普通交付税で措置、起債許可制限比率関係は当然受ける。

ヨシ子議員　合併は中城村の将来のかかった重度な問題で主人公である村民の意志に基づいて決める事が大切。最終判断を下すための住民投票を実施する意志はありますか。

村長　住民本意という立場から住民投票を視野に入れて進めていく方針です。

潰れ地補償及び土地の台帳整備

仲宗根　　哲　議員

仲宗根議員　和宇慶土地改良モデル事業後の道路拡張工事に伴う道路整備事業に係わる潰れ地の買上や道路の個人所有地との境界線の確定及び台帳の整備はどうなっているのか。また、その他、緊急対策道路整備事業としての潮垣線に係る道路と個人所有地との境界線の台帳整備はどうなっているのか。

村長　私の方からは潮垣線の沿線についての件に触れておきたいと思います。土地改良事業による道路整備事業が行われ、換地された箇所については土地改良区の財産になっておりますのでご理解を頂きたいと思います。残余の質問につきましては建設課長の方から答弁をさせて頂きます。

建設課長　モデル事業による道路整備につきましては、主に集落内の幹線道路の整備と言うことで、潰れ地補償無しで関係者の同意及び自治会の総意により、自治会長が署名押印し、道路法上の供用開始の手続きまですべて完了し、道路法上の道路として機能しております。

仲宗根議員　土地所有者の名義のままで公道となっていると言うことは将来、子々孫々の時代にトラブルの原因になると私は心配をしております。いつまでに予算化をして台帳の整備に取り組まれるのか、お尋ね致します。

建設課長　おっしゃるように、確かに将来的に課題を残す訳でございますが、それに新たな予算を投入すると言うのも、今の厳しい財政ではすぐに実現出来るかどうか、ちょっと検討を要する事項だと考えております。

仲宗根議員　大変厳しい事情は分かりますが、今後の課題としてトラブルの原因にならないように措置をして頂きたいと思います。この問題は村の道路条例とも相反していますので、早急に解決をして頂きますようにお願いを申し上げます。

青葉苑

比嘉明典議員

比嘉議員　青葉苑線の用地取得費として七、〇〇〇万円の債務負担行為を起こし、平成十五年度の予算で用地購入費として二、四二〇万円計上してあるが、その取得面積と取得予定価格は。また、取得用地は何筆か。

建設課長　平米単価三万五千円で、面積が六九、一四三平米ということで二、四二〇万円を計上してある。取得用地は二筆であります。

比嘉議員　債務負担行為で約七千万円の決議がなされておるがこの予算で道路部分すべて買い上げ出来るかどうか。

建設課長　鑑定結果を待ってしか単価も正式には決まりませんので、まだ明確には申し上げられない。

比嘉議員　北中城村との用地購入の負担割合についての協議はどのようになっているか。

村長　喜屋武村長とひざを交えて相談し、そして一緒にその問題を解決していこうという姿勢をお互いに確約したところである。

比嘉議員　青葉苑に係る地域支援策については。

村長　地域還元策を具体的に進めていくために、地域の代表の皆さんと私たちと一つの協議会をつくって、その中で住民の意見を最大限に採り入れるような形でつくっていきたい。

財政運営の確立

比嘉議員　今後四、五年で退職者増が予測されますが、その対応策として退職基金の創設の考えはないか。

村長　退職基金創設ということを考慮に入れ、平成十五年度から財政中期計画を立てますと、しっかり申し上げておきたい。

比嘉議員　健康医療の拡充について、管理栄養士や保健士の設置が必要だと思うが。

保険課長　健康相談や健康教室を実施することによって医療費の抑制に繋げたい。また栄養士の配置は可能であります。

健康福祉課長　我が村におきましては三名の保健士が配置されている。今後も適正配置に向けて鋭意努力していきたい。

電源三法

知念政光議員

知念議員　まず始めにLNG発電についてですが、地域住民への説明会を実施した日時と場所をお伺いします。

企画課長　地域への説明としては平成十四年七月十一日に行っております。その後八月十二日、隣接の自治会長の皆さんとの意見交換を八月二十日に行っております。

知念議員　火力発電所誘致により、電源三法制度による振興策、特に電源立地と初期対策交付金について説明をお願いします。

企画課長　電源立地促進対策交付金については、七億九千万円が見込まれ、交付期間は、平成十九年度から二十七年度までの予定となっております。この交付金は、周辺地域における公共施設の整備を促進し、福祉の向上を計り、十八年度までに県との調整を終えるよう、整備計画の作成を進めていきたいと思っております。また初期交付金については、概ね、六月の補正を予定しております。

農業振興

知念議員　ハウスのリース事業についてと、単一農協との連携はどうなっているか。

経済課長　リース事業は十四年度も実施されております。十五年度においては、当初予算とその生産団体との受け皿調整を図りながら、導入していきたいと考えております。単一農協との連携については、支店機能との連携を深め、農家への指導体制も努力していきたい。

奥間宇宙原土砂崩れ及び砂防ダム改修工事

知念議員　奥間宇宙原の土砂崩れについての調整はどうなっているのか。また砂防ダムの改修はどうなっているのか。

建設課長　土砂崩れについては、県の説明では、保安林指定が必要だというので、現在、地権者の特定作業を行っております。また、砂防ダムの件は、新たに建設するか、改修工事にするか、検討中でございます。

※他にサンヒルズタウンの問題とゴルフ場オープン時期について質問がありました。

行財政改革

新垣善功議員

新垣議員　平成九年十月六日に「行財政改革大綱」を平成十三年三月七日に「改革実施計画」を作成しているが、その進捗状況と外部「改革検討委員会」は設置したのか伺いたい。

村長　行財政改革の進捗状況は五〇パーセント位達成しつつあるというふうに思っております。外部「行財政検討委員会」は昭和六十二年設置当初から今日まで予算計上されておりますが、機能してなく、深く反省し、今後、開催に向け鋭意努力してまいります。

市町村合併

新垣議員　平成の大合併ということでマスコミ等に取り上げていますが村長の合併に対する今の考えを伺いたい。

村長　地方自治体を取り巻く環境は徐々に厳しくなるのであろうことを考えてみました時に財政シミュレーション、新市将来構想等を住民に提示し真剣に協議をして合意形成を図っていき、タイミングを見て決断を私なりの結論を出していきたい。今のところは、白紙です。ただ北中城村とのかかわりですが北中城村も三市町村の任意協に加わってほしいとの願いはあります。

添石野菜温室組合

新垣議員　添石野菜温室組合の事業導入の過程、営農計画運営と営農指導はどうなっているのか

経済課長　平成九年度県農業基盤確立事業の一環として導入したものです。現在の状況は放置された状態で今後の事業導入に大変憂慮しています。今後指導を強化していきます。

サンヒルズタウンの合併浄化槽の村への移管

新垣議員　サンヒルズタウンの浄化槽は「中城村下水道条例」を準用して村へ移管したらどうか村長の考えを伺いたい。

村長　その件については、今まで幾度か質問を受けました。今後、条例の勉強とか地元住民と良く相談しながら、議員の意に添うような形で検討させてください。

サンヒルズタウン合併浄化槽

採択

イラク問題の平和的解決を求める意見書

米軍によるイラク攻撃の事態になれば、県民生活は脅かされ、沖縄の観光産業や経済活動が再び大きなダメージを受ける恐れがある。よって、政府は、イラク問題の平和的解決に向けて、国連並びに国際政治の場において積極的に外交努力することを強く要望する（意見書分要約）。

採択

青少年健全育成法（仮称）の制定を求める意見書

青少年の問題行動が大きな社会問題となっている昨今、青少年の健全育成に関する基本理念や方針などを明確にし、これによる一貫性のある、包括的、体系的な法整備を図る必要があるとし、「青少年健全育成法（仮称）」の制定を強く要望する（意見書分要約）
注：この意見書は、十二月定例議会で文教社会委員会に付託され、文教社会委員会で審議され提案された。

採択

健保三割負担の凍結を求める意見書

長引く不況のもとで、病気や老後、失業などの不安が高まっている中、今年四月一日からの被用者保険三割負担は、いっそうの受診抑制で命と健康に大きな影響を与えかねません。又、医療費の負担増は、景気対策の上からも避けるべきであり、被用者保険三割自己負担の実施凍結の実現を強く求める（意見書分要約）。

議員・事務局職員研修

平成15年２月27日、読谷村文化センターにおいて、町村議会議員、事務局職員研修会が開かれ、主に予算編成と、市町村合併について研修しました。

中城村議会 建設常任委員会 現場視察

平成十五年三月定例議会開会期間中、建設常任委員会が平成十四年度、花卉拠点産地形成総合推進対策事業で導入された「なかよし菊生産組合」の平張りハウスを視察致しました。担当課の説明によると、防風効果も大きいし、また農薬の使用回数も半減できて、経費削減にもつながるとのことです。

中学校管理棟の新増築計画について説明を受ける
文教社会常任委員（中城中学校・校長室にて）

四月の定期人事異動により、議会事務局に配置換になりました知名幸子です。

一生懸命頑張りますのでご指導よろしくお願い致します。

編集後記

うりずんの季節を迎え、野山には草花が咲き乱れ、新緑もまぶしく目に映ります。今号は、主に平成十五年度予算と、全国的に話題になっている市町村合併問題が特徴的内容になりました。十五年度一般会計予算で前年に比べ国よりの地方交付税が三億円近く減少しています。

又、市町村合併問題では、地域住民の地方自治活動への積極的参加や財政の効率的運用が地方に対し強く求められています。「議会だより」に対する村民からの御意見等お待ちしております。